

asr::util::logger 設計ドキュメント

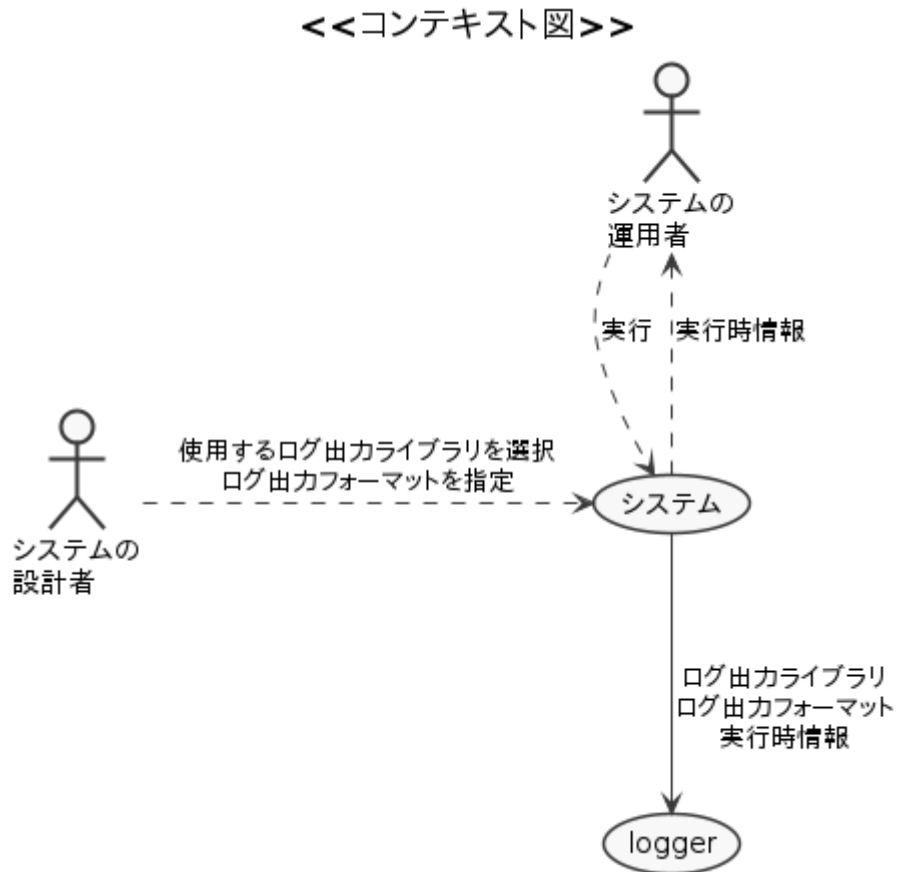
目次

1. 要求仕様.....	1
1.1. ユースケース.....	1
1.2. USDM.....	3
2. 静的構造.....	4
2.1. クラス図.....	4
2.2. レイヤー構造.....	6
2.3. ファイルフォーマット.....	7
3. 動的挙動.....	8
3.1. シーケンス図.....	9
4. トレーサビリティマトリクス.....	10
4.1. クラスと仕様との関係.....	10

1. 要求仕様

1.1. ユースケース

1.1.1. コンテキスト図



1.1.2. ユースケース記述

表 1. ユースケース(1)

基本ルート		
1	システムの設計者	loggerをデフォルト設定で利用することを決める
2	システム	デフォルト設定でloggerを構築する
3	logger	デフォルト設定で構築する

表 2. ユースケース(2)

基本ルート		
1	システムの設計者	loggerの構築設定ファイルに、使用するログ出力ライブラリ・ログ出力フォーマットを記述
2	システム	構築設定ファイルを指定してloggerを構築する
3	logger	構築設定ファイルから、使用するログ出力ライブラリ・ログ出力フォーマットを読み取り構築する

表 3. ユースケース(3)

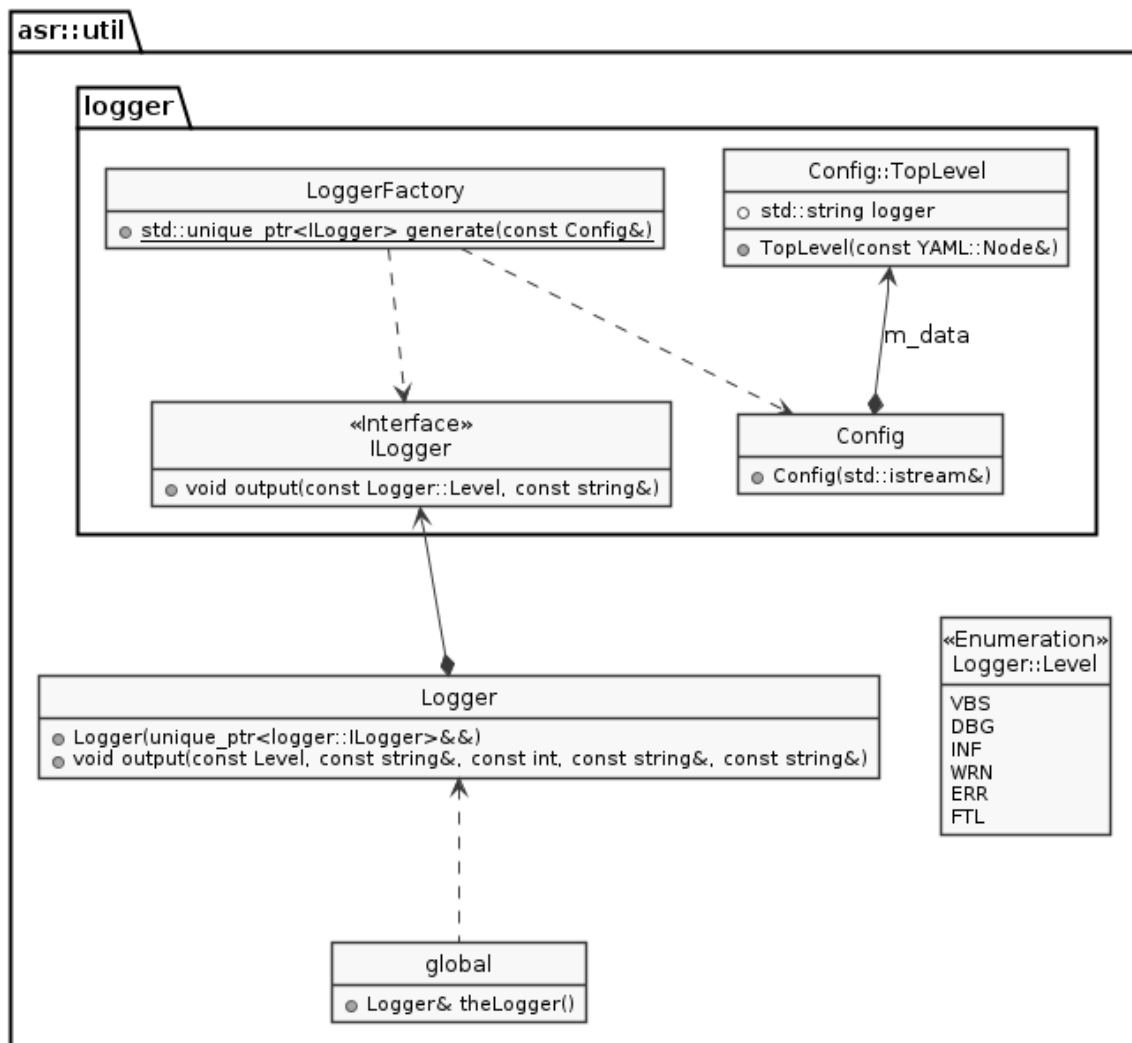
基本ルート		
1	システムの運用者	システムを稼動する
2	システム	必要なタイミングでログを出力する
3	logger	設定に従ってログを出力する
代替ルート		
3-1	logger	設定上、出力しない条件であればログを出力しない

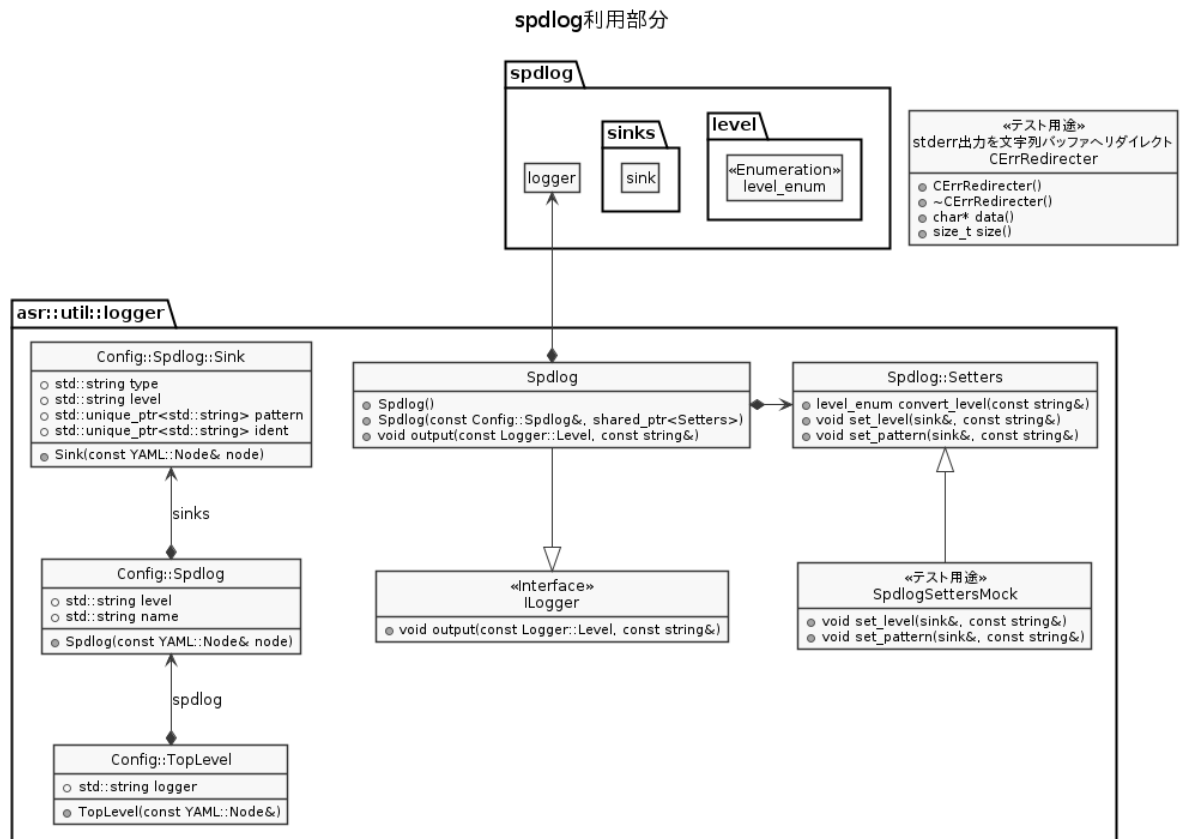
1.2. USDM

2. 静的構造

2.1. クラス図

メイン





2.2. レイヤー構造

2.3. ファイルフォーマット

3. 動的挙動

3.1. シーケンス図

4. トレーサビリティマトリクス

4.1. クラスと仕様との関係